

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2014年2月1日

125号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



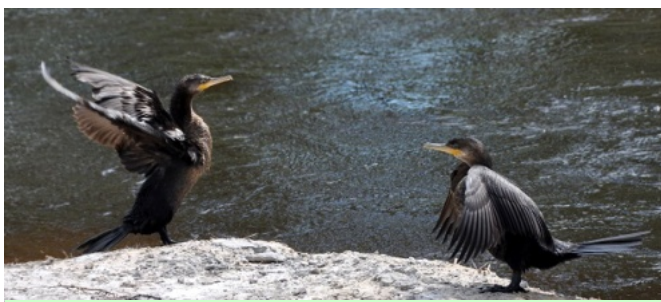
一年で最も暑い季節、川で水浴びをするレダの馬たち。馬の背でウシタイランチョウが皮膚の虫を取ってくれる。

生命の讃歌、パンタナールの真夏

レダの二月は雨季の中であり、40℃を超える猛暑も続いている。あらゆる生物が生命力を豊かに謳歌し、植樹園の中は、蔓草も全てを飲み込む勢いで繁殖し、花を咲かせ、雨上がりに大量発生する蚊の大群も賑やかである。十一月頃から家畜たちも繁殖期に入り、生まれた子供達もスクスク成長している。そして多くの動物たちが水浴びを喜ぶ。馬の親子も例外ではない（上の写真）。ワニやカピバラだけが泳ぎが上手というわけではなく、豹やアメリカライオンや蛇も上手に泳ぐ。先住民の男の子も女の子も、シャツを着たまま川に飛び込み、ピラニアと一緒に川泳ぎを連日楽しんでいる。

泳ぎの名手といえば、昨年12月に孵化したパクーの稚魚も、養殖池で10万匹を超える数が元気に泳ぎ回っている。レダでは、この三月にも再度パクー稚魚の放流式典を成して、乱獲で激減したパラグアイ川の魚の環境自然保護を促進できるよう計画している。

昨年、チャコ地方で初めての稚魚放流式典が行われ、大統領御一行が参加したが、今年のゲストとして、どなたを招くか検討中である。



元気をアピールする、ナンベイヒメウの求愛

また、去る十二月に世界日報（日本の日刊紙）記者が取材に来園、数日滞在した。日本人が南米の僻地に開拓を進め、地域社会や国家に貢献して喜ばれていることや、環境保護のため、植樹や養殖に取り組んでいることに感動し、先住民の村や開拓村を訪ね、人々の感謝の声をきっちり取材して、元旦号に4頁にわたって特集を組み、報道していた。その中で、豚が泳いでいる姿にもびっくり、写真付きで紹介していた。（飯野記）

新しいスクレーパーが到着

レダ基地では...

一月十日、スクレーパー（土などを掘る機械）がようやく到着しました。これは七立方メートルの土が入るもので、スクレーパーの中では最も大きなものです。十一月上旬に中田所長とロマ・プラタ行つて注文したのですが、



新しいスクレーパーで作業力アップ

ようやく到着しました。大きなトラックに載せて来たのですが、大雨のためにここまで果たして着くのか心配しました。しかし、途中一日足止めをくったものの、その翌日到着しました。これで今後、養殖池の造成がどんどん進むでしょう。（この頁、佐野記）

パクーの大量人工孵化に再び成功！

今シーズンもパクーの人工孵化に成功しました。生まれた仔魚を直ちに正確に計数することはできませんが、マグノ教授によれば、受精するのは約八十%ですから、五百グラムは受精したと推定できます。その中で



仔魚になる受精卵

どのぐらいが孵化し、稚魚として成長し、さらに成魚となるかで、総合的な結果が表れてきます。



優れた親魚から卵を採取する

アストロノトゥスを研究

パンタナールに、アストロノトゥスという魚がいます。日本ではオスカーという名で知られています。鯛の味にも似て、中田所長も非常に美味しいと言っています。マ



美味しいアストロノトゥス（オスカー）

グノ氏も、これはティラピアの仲間です、今後パラグアイでの養殖の目玉にしていきたいと、私たちと共に、意気投合した魚です。（*Astronotus ocellatus* スズキ目カワスズメ科）

真夏のメリークリスマス

先号でお伝えできなかった、レダ基地のクリスマスです。現地従業員の全員に、すてきなプレゼントが贈られました。



上：アサド（焼肉）、下：乾杯



栄養豊富なタロイモの収穫

レダ農場の水耕栽培で丹精込めて育て、収穫したタロイモです。



フィッシュパウダー（魚粉）作り

マグノ氏が来たときに、川で小魚を取り、日干しにして魚粉を作りました。



上：小魚獲り 下：処理された小魚



雨季のチャコ地方、悪戦苦闘

この季節は、大雨続きで大変です。私（佐野）も雨の合間を潜り抜けながら、アスンシオンからレダに帰ってきましたが、道路の泥濘に埋まって、バスを含む何台もの車が動けなくなっていました。

来日中のレダ・スタッフに質問しました。

①レダでの担当業務、②レダで苦心したこと、③日本滞在中にしたいこと、④日本の皆様へひと言

★上山貞和氏 養殖

では、二三〇匹の親魚と二五〇〇匹のパクアイで最も綺麗なプールとしての清掃と維持、現地労働者の管理などが主要な担当業務です。

親魚をいかに育てるかが苦心のしどころです。既製の飼料だけでなく、アセロラの赤い実、木の葉、ヤシの実、タニシなど、可能な限りの餌を与えました。川で釣ったパクアイの胃にヤシの実が詰まっております、現地の人々もヤシの実で釣っていました。そこでヤシの実が熟す時期は毎日ボートで実を採りに行つてパークに与えました。



橋の建設工事を監督する上山氏(右から二人目)

日本では、稚魚放流の時に付ける標識を探したり、大学や水産試験場を訪問したいと考えています。また、サトイモの水田栽培をしている農家の見学や、養豚技術の向上のため、優れた豚肉の産出法、料理法なども研究したいです。



農場を点検する上山氏

皆様もレダに來られて、朝日や夕焼けの涙の出るほど感激する綺麗な自然の中で奉仕活動を体験していただきたいと思ひます。養殖で、卵から稚魚に育てる技術の確立が必要です。仔魚の餌を確保するのが難しいのですが、この件に関心があり、研究したい人に来ていただきたいです。

★伊達勝見氏 レダでは、農業、養殖、養豚などを担当させていただきました。

いずれも試行錯誤が多く、満足のゆく成果とは言えず、多々反省しています。他にも、会計、レダ情報作成、鶏の世話、発電機管理、水位、気候、雨量などの記録、日誌づくり、ヨグルト作りなどを行いました。昨年は元氣あふれる青年たちと共に仕事できて、大変楽しかったです。

日本では造園の勉強をしたいと思っています。書館などでの調査、上野公園や日立市の林木育種センターなどに行つて樹木の観察学習をしています。そして、色々な知人に会ったり、集会に参加してレダの活動紹介を行っています。



養豚の管理をする伊達氏(左)



平和大使セミナーの伊達氏(中)

日本では造園の勉強をしたいと思っています。書館などでの調査、上野公園や日立市の林木育種センターなどに行つて樹木の観察学習をしています。そして、色々な知人に会ったり、集会に参加してレダの活動紹介を行っています。

日本の皆様には、レダと何か一つでも、具体的な課題をもって関係を結んでいただければ、より強い関心を持つていただけないかと思ひます。日本からの情報や、アドバイスは大変刺激になると思ひます。

★中井重幸氏

私の仕事は、アスンシオン事務局でレダに必要な資材や食



レダ基地の中井氏

材などの調達、日本からの支援金の管理、及び政府やマスコミなどへの渉外活動です。

レダのトラクターやトラックなどで10年近く経っているものは型式が古く、部品などの入手がしばしば困難です。多くの店を回つてやつと手に入れたり、時には特注加工も必要で、費用もかかります。毎年青年奉仕隊がパラグアイに來る時、レダへの移動手段をどうするかいつも苦心します。基本的に、行きは陸路で、帰りは空路で予定を立てます。しかし天候次第で、雨が降れば陸路は全く使えません。滑走路も使えないので飛行機も不可するとボートで移動するしかありません。常に代替の移動手段を数通り考へておかねばなりません。年をとつてくると体調管理も大切になります。



大統領官邸の中井氏(後列右)

今家の近くにある川沿いの散歩道を一万歩歩くようにしています。体調を十分に整えてパラグアイに帰りたいと思ひています。レダについていろいろ報道されるようになりました。是非一度訪問してください。行つて見なければパンタナールの良さはわかりません。

パンタナール研修会の御案内 (一日特別研修会)

厳しい冬が過ぎ、春の陽光が差し込むころ、下記の内容のパンタナール研修会を開催いたします。
南米パンタナールのレダ開発は15年目を迎えました。多くの支援をいただき植樹、青年ボランティア隊派遣、先住民の村に学校建設、更にレダにおける養殖などを通し、国からも高く評価を受けました。
先回の大河パラグアイ川でのパクー稚魚放流式典では、大統領御一行を迎えました。それは環境保護の道を開き式典も成功裏に行われ、多くの人々に感動と希望を与えました。正に当会の創設者、文鮮明先生の「他のために生きる精神」の実践であり、生きた証しです。
皆様、今回の一日研修会を通して「ボランティア精神」や「地球環境問題」を見つめ直してみませんか。きっと皆様にとって喜びの出発の日となるでしょう。皆様の積極的なご参加を心からお待ちしております。

開催日 2014年3月2日 (日)

プログラム

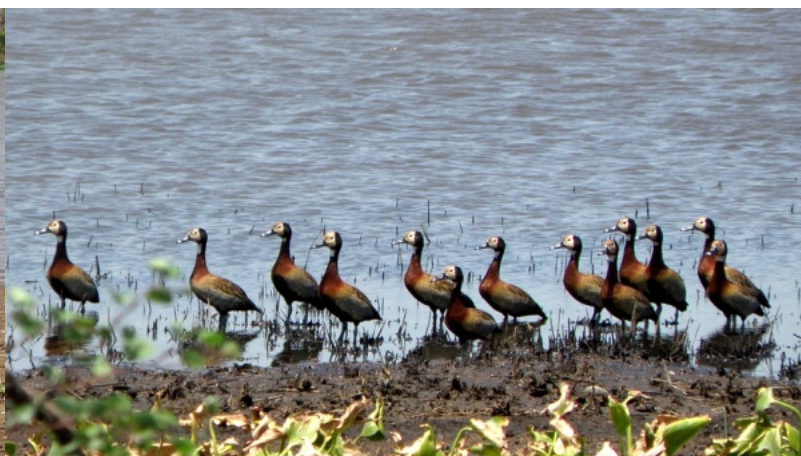
- | | | | |
|-------|--------------|------------------------|----|
| 10:00 | 受付開始 (2階ホール) | | |
| 10:30 | 開会 | ビデオ上映 | |
| | 講義 ① | 「創設者の思想とレダの歩み」 飯野貞夫先生 | |
| 12:00 | 昼食 | | |
| 13:00 | 講義 ② | 「ここまで進んだ地球環境問題」 高津啓洋先生 | |
| 14:30 | 休憩 | | |
| 15:00 | 講義 ③ | 「奉仕活動が国を動かす」 柴沼邦彦先生 | |
| 16:30 | 質疑応答 | 17:00 | 閉会 |



大統領を迎えパクー稚魚放流式



レダ基地にやって来たベニヘラサギ (ペリカン目トキ科)



シロガオリュウキュウガモ (カモ目リュウキュウガモ科)

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座

10180-77680471

Eメール : office@asd-nsajp

ホームページ : <http://www.asd-nsajp>

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアー・パンタナール林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。
会費は月五〇〇円です。毎月、パンタナール通信をお送りします。
また、各種のセミナー、エコツアー等への案内をいたします。

地球家族として
自然を守りましょう
南北米福地開発協会
会員募集中